

ガラスの器で涼を味わおう

夏の食卓にガラスの器があると、何とも
いえない涼を感じます。透明なガラス、色
ガラスを重ねた半透明のガラス、切り(カッ
ト)などで文様を施したガラスは、光を透
過させ、あるいは複雑に反射させ、陶磁器
や金属器にはない魅力を放ちます。

古代より西欧の人々を魅了したガラス工
芸の技術は江戸時代の長崎に伝わり、以後
大阪、江戸、そして薩摩へと広まりました。



薩摩切子ガラス 江戸時代末期(19世紀)

薩摩ガラスは、弘化3年(1846)、
島津斉興が薬瓶を作らせたことにはじまり
ます。息子斉彬の代になると西洋に学ん
だ切子技法を本格導入、藩の特産品として
将軍家や大名家にも献上されました。その
特徴は、深みのある色彩と多彩なカット。
松井家には、島津雄五郎の四女綾子が松井
家十三代明之に嫁いだ際、婚礼調度として
持参した薩摩切子が伝来します。他にも舶
来・国産のガラス食器が数多
く揃っています。シンプルな
ものから華麗な装飾が施され
たものまで、ガラスの器で夏
の涼を堪能ください。

■松浜軒展示案内

企画展 「ガラスの器／妖怪
絵巻／朝顔生写図巻／花
入」

とき 開催中～9月30日
午前9時～午後5時
(入園4時30分まで)

閉園日 毎週月曜
祝日の場合はその翌日

観覧料 一般500円
小中学生250円

問合せ 松浜軒／松井文庫
☎330171

絵巻で学ぶ妙見祭の歴史と民俗講座

江戸時代に描かれた「妙見宮祭礼絵巻」などの
資料を題材とした専門家による全8回の講座を通し
て、国指定重要無形民俗文化財「八代妙見祭の神幸
行事」の歴史と民俗を学びます。

第1回 「妙見祭祭礼絵巻と肥後の絵師」

市立博物館未来の森ミュージアム 福原 透 副館長

とき 8月23日(日) 午後2時～4時

ところ 厚生会館 大集会室

定員 70人 申込みが必要

参加費 無料

申込み 文化振興課☎33-4533

八代市ふるさとメール会員募集中

<http://kumanichi.com/fmail/>



八代市からの情報や
熊本日日新聞の紙面に
掲載された地元の情報
をメルマガ登録者に毎
週お届けします。

会員登録は無料で、
登録すると抽選で特産
品などを毎月プレゼン
トします。

問合せ
観光振興課☎33-4115

八代・芦北の七夕綱を

(国選択無形民俗文化財)

見に行ってみませんか



八代・芦北地域には、月遅れの七夕の前日(8月6日)、
地区内の川に綱を張り渡し、ワラで作った細工物をつり下
げる全国でも珍しい七夕行事が伝わっています。細工物に
は彦星・織姫の人形、ツル、カメ、タコ、ヤモリ、ウマ、
タマゴ、タワシ、ワラジなどがあり、この綱を渡って彦星
と織姫が出会う、疫病が集落に入るのを防ぐ、先祖の霊が
綱を渡ってやって来るなどの伝承があります。

現在、八代市内で唯一七夕綱が伝承されている坂本町中
谷の木々子地区では、8月6日の朝から地区内の地蔵堂で
ワラ細工作りが行われ、昼前に中谷川に綱が張り渡されま
す。希望する人は、いっしょに簡単なワラ細工ができます。

この七夕綱は8月末まで張られています。

問合せ 文化振興課☎33-4533

八代七夕綱保存会(久保田) ☎45-2637